

2019年
春号 (通巻No.283)

ナンバーゼロ



INDEX
目次

- P2 ごえん楽市報告
- P3 こぶんた・わくりんが行く
ゴゴ☆かわさきキッズ
~BUNBUNステージ~
- P4 NPO映像交流会報告会報告

ごえん楽市にご参加ありがとうございました。



開会式のパフォーマンス

子ども向け科学教室

川崎野菜カレー販売

フリーマーケット

パネル展示で活動紹介

2ページに
続きます

NPO×大学×中間支援組織

専修大学ネットワーク情報学部との連携による 市民活動団体広報支援

2月7日(木)、かわさき市民活動センターにて「かわさきNPO映像交流会」が開催されました。

当センターの大学連携事業として、川崎市内の市民活動団体10団体と専修大学ネットワーク情報学部の学生が連携し、団体の広報物(PR映像、パンフレット、WEB)を制作しました。

参加団体からは「約半年間のプロジェクトでしたが、若い発想力と行動力でとても素敵な広報物の完成に至りました。今年は、こちらが本広報物を用いて周知活動を実施させて頂く番だと思っております。」「今回の事業に参加することにより、団体の方向性をしっかり見つけ直す時間ができました。」などの声が聞かれました。

※当センターのWEBの大学連携事業のページから、各団体のWEBへのリンクがあります。



大判印刷機導入しました!

はじめての方でも安心!
らくらく操作マニュアルあります

市民活動団体の広報・広告活動の強い味方A1、A2の定形や3mまでの長尺(横断幕など)イベント告知、活動紹介やプレゼン用資料など...

※ご利用には事前の施設利用登録が必要です。

用紙サイズ	寸法	利用料金 (紙代(厚口コート紙)含む)
定形:A1	598×841	800円/1枚
定形:A2	420×594	400円/1枚
長尺	最大3mまで	400円/50cmごと



< 御礼 >



一般社団法人生命保険会社神奈川県協会様(幹事会社明治安田生命保険相互会社川崎支社)より、200,000円のご寄付をいただきました。
市民活動推進事業への一般寄付として、川崎市内のボランティア・市民活動発展に活用させていただきます。

予告 ボラ・ナビ2019
夏休み特別企画



小学生から中学生・高校生向けの特別企画を計画しています。名付けて、「初めてのボランティア活動、僕にも、私にも!」ボランティア活動を初めて行う児童・生徒の皆さんが受入団体さんの協力を得て、迷わずにボランティアを行えるように、またスムーズに体験・経験が出来るような企画です。夏休みの体験、ひと夏の思い出作りにかがてませんか?

■ご案内 MAP



ナンバーゼロ 2019年春号(通巻No.283)
【編集・発行】
公益財団法人かわさき市民活動センター 市民活動推進課
〒211-0004 川崎市中区新丸子東3-1100-12
電話:044-430-5566 FAX:044-430-5577
メール:suisin@kawasaki-shiminkatsudo.or.jp
WEB:http://www2.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp/volunt/

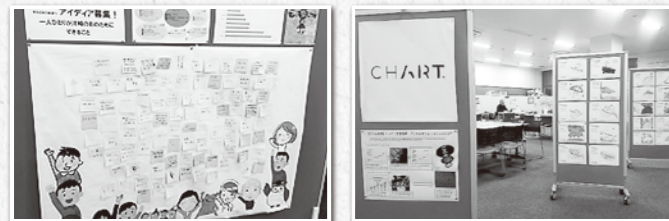
Facebookでも情報を発信しています。
<https://www.facebook.com/kcac.suisin/>

ポータルサイト「応援ナビかわさき」
<http://kawasaki.genki365.net/>

◆2019年冬号は、7名の発送作業ボランティアの方にお手伝いいただきました。

ごえん楽市報告

2月2日(土)、かわさき市民活動センターと中原市民館全館で「ごえん楽市」を開催しました。川崎市内の市民活動団体等89団体が出展し、当日来場した約1800名の市民に、日頃の活動を紹介しました。団体の分野は、まちづくり、福祉、環境、防災、文化など多岐にわたり、活動紹介の方法も、パネル展示、パフォーマンス、講座、ワークショップなどさまざまでした。また、フリーマーケットで参加した団体は、手作りの作品などを販売しました。



主催者企画「CHART Project」/「アイデア/パネルをいっぱいにしよう」の報告をフリースペースで展示中

◆来場者アンケートに

皆様の活動のエネルギーを感じ、私もいつか何かお役に立てたらと思いました

刺激を受けました。家の中に引っ込んでいないで外に出てよかった

もっと広く知らせてほしい(老人会にチラシを配るとか)

など、ご意見をいただきました。

◆また、団体アンケートには

興味を持ってくださる方が思った以上に多かった

パンフレットを早めに作り、近所に配布したい

場所が狭かった(パネル出展)

などがあり、次回へのヒントもいただきました。

かわさき市民活動センターをご支援ください

2019年度賛助会員の募集を始めます

4月から

センターの、市民活動団体を育てるための各種事業運営を、資金面から支えてくださる、2019年度の賛助会員を募集します。会員には年2回「事業成果レポート」を送付します。

福祉、子ども、高齢者、まちづくり、環境保全など、川崎市内では、多くの市民活動団体が地域の抱える諸課題を解決するため、日々活動しています。市民活動団体は、行政や企業が対応しきれない社会問題に、柔軟かつ迅速に対応する担い手の一翼です。暮らしやすい地域社会を実現する一つの方法として、さまざまな市民活動団体の育ちを皆さんで応援してください。

期間

2019年4月1日～2020年3月31日

年会費

個人会員 / 一口 1,000円(一口以上)

団体会員 / 一口 5,000円(一口以上)

振込先

振替口座 00210-6-68974(ゆうちょ銀行)
公益財団法人かわさき市民活動センター

【賛助会費の用途】

ボランティア募集冊子「ボラ・ナビ」発行/ボランティア・市民活動情報紙「ナンバーゼロ」発行
団体利用ロッカー18台増設/フリースペースステابل、広報物掲示/パネル買い替え 等

個人会員で所得税が優遇されます

公益財団法人である当センターへの寄付は税法上の優遇処置の対象となります。個人が確定申告などを行う際に、一年間の特定寄付金の合計額から控除できます。ただし、その年の総所得の40%相当額が上限となります。

5口(5,000円)を寄付すると

5,000円-2,000円(※)=3,000円
3,000円が総所得から控除されます。

※個人が確定申告などを行う際、一年間の特定寄附金の合計額から2000円引いた額を、総所得金額から控除できます。詳しくはお近くの税務署にご相談ください。

シリーズ 市民活動のキーワード vol.2 「ファシリテーション」

一般的に、効果的に会議を行うための働きかけを「ファシリテーション」と言い、会議の進行を管理し、その場をやさしく効率的に演出していく人を「ファシリテーター」と呼びます。また、「ファシリテーション」をより広い意味で捉えれば、組織による創造、変革、問題解決、合意形成、学習などを支援し促進させる働きを意味し、ビジネスや教育などの分野でも活用されています。

「ファシリテーター」には、場をデザインするスキル(プロセス設計)、コミュニケーションのスキル(傾聴、復唱、質問、主張、非言語メッセージの解読など)、構造化のスキル(図解、フレームワーク)、合意(コンセンサス)形成のスキルなどが求められます。ファシリテーションスキルの向上は、メンバー個々がそれぞれ力を発揮できるだけでなく、会議やプロジェクトの成果自体を高めることにつながります。

「ファシリテーター」の機能を部分的にメンバーで分担したり、ツール類で機能を補完したりすることもあります。議論を図解・可視化を行なうために「グラフィックレコーディング」という技法が用いられることもあります。

参考:ファシリテーションとは—NPO法人 日本ファシリテーション協会



当センター「パワーアップセミナー活用成果発表会2018」でのグラフィックレコーディングの様子。

予告 大人気

2019年第1回パワーアップセミナー
パワーアップセミナーで初登場!

「はじめてのグラフィックレコーディング(仮)」

●日時:5月25日(土)13:30~16:30

●会場:かわさき市民活動センター

この講座はグラフィックレコーディングの基礎編です。キャラクターや絵の描き方など表現の仕方や情報の整理方法、ちょっとしたグラフィックレコーディングのコツなどを紹介します。

講師:本園 大介さん

グラフィックコミュニケーターとして各地でグラフィックを用いたファシリテーションやレコーディングを実施。年間100件を超えるグラフィックレコーディングをごこなす。

グラフィックレコーディング(通称グラレコ)とは…

プレゼンテーションや会議における人々の会話を図や絵などを使ってリアルタイムで可視化して描いていくものです。言葉では上手く伝えられず、文章にすると長くなってしまったりも、グラフィックレコーディングなら図と絵でユーモアにてわかりやすく伝えることができます。

お知らせ

当センターに施設利用登録をしている団体に本紙「ナンバーゼロ」を定期的に無料で送付します。

送付を希望される団体は、当センター宛てメールでお申込みください。
メール:suisin@kawasaki-shiminkatsudo.or.jp
既に送付希望頂いている方は不要です。



「ゴーゴー☆かわさキッズ ~BUNBUNステージ~」



1月26日(土)、こども文化センターの全館合同事業として「ゴーゴー☆かわさキッズ~BUNBUNステージ~」が高津市民館にて開催されました。こども文化センターやわくわくプラザを利用している子どもたちが日頃の活動の成果を発表するこのステージも今年で8回目となり、今回も小学生から高校生までのたくさんのお子たちが、ダンスやけん玉、ジャグリング、空手演武等の発表を行いました。

音楽に関する発表では、高校生バンドによる演奏で観客席の児童と一緒に歌う場面が見られ、会場が一体となった様子が感じられた

他、地域で活躍する成人団体とのハンドベル合奏もあり、他世代交流の促進にもなりました。会場には各館で行われている文化系クラブ活動の紹介や、昨年12月に行われた子どもサミットの活動報告などを掲示し、こども文化センターでの子どもたちの活動を広くアピールすることができました。

ステージの司会是有志の子どもたちによって行われ、出演団体へのインタビューや幕間でのクイズの出題など、重要な役割を元気いっばいに果たしてくれました。

当財団では、子どもたち同士や地域とのつながりを大切に活動を進め、子どもたちの健やかな心の成長を支える取り組みを継続して行っています。

自分たちの活動をみんなに知ってもらえ、たのしい発表になったね!



※こぶんたは、当財団が管理運営するこども文化センター52館のキャラクターです。※わくりんは、当財団が管理運営するわくわくプラザ101施設のイメージキャラクターです。